

さいたま市公民館運営審議会第1回会議 議事録

1 開催日時

令和3年11月16日（火） 午前10時00分から11時30分まで

2 開催場所

鈴谷公民館 2階 大会議室

3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 山中 冴子 委員長
- ② 加藤 美幸 副委員長
- ③ 石田 玲子 委員
- ④ 大塚 晶子 委員
- ⑤ 加藤 恒 委員
- ⑥ 栗原 保 委員
- ⑦ 小林 玲子 委員
- ⑧ 丹 能成 委員
- ⑨ 寺田 道子 委員
- ⑩ 山崎 栄慈 委員

〈拠点公民館職員：10名〉

- | | |
|----------------|--------|
| ① 西区 指扇公民館長 | 芳賀 善久 |
| ② 北区 大砂土公民館長 | 桑原 健司 |
| ③ 大宮区 桜木公民館長 | 大嶋 真浪 |
| ④ 見沼区 大砂土東公民館長 | 辰市 健太郎 |
| ⑤ 中央区 鈴谷公民館長 | 掛川 雅世 |
| ⑥ 桜区 田島公民館長 | 内ヶ嶋 直哉 |
| ⑦ 浦和区 岸町公民館長 | 星野 務 |
| ⑧ 南区 文蔵公民館長 | 押田 龍彦 |
| ⑨ 緑区 大古里公民館長 | 春日 徹也 |
| ⑩ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 大野 浩 |

〈事務局：5名〉

生涯学習総合センター

- | | |
|-----------------|-------|
| ① 館長 | 吉田 治士 |
| ② 参事兼副館長 | 中村 和哉 |
| ③ 主幹兼事業・企画係長 | 有江 良修 |
| ④ 事業・企画係主任 | 曾根 啓佑 |
| ⑤ 事業・企画係社会教育指導員 | 伏見 浩美 |

4 欠席者名

〈委員：2名〉

①浅野 博一 委員 ②島田 正次 委員

〈事務局：1名〉

①松本 みはる

5 議題等

- ・さいたま市公民館運営審議会について
- ・生涯学習総合センター・公民館について
- ・さいたま市公民館ビジョンについて
- ・諮問について
- ・今年度の会議日程について
- ・他の会議等に推薦している委員について

6 配布資料

- (1) さいたま市公民館運営審議会第1回会議次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第1回会議名簿
- (3) さいたま市公民館運営審議会第1回会議席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会委員名簿
- (5) さいたま市公民館運営審議会概要
- (6) 生涯学習総合センター・公民館概要
- (7) さいたま市公民館ビジョン
- (8) さいたま市公民館運営審議会への諮問について
- (9) デジタルトランスフォーメーション（DX）推進に向けた公民館事業のあり方について
- (10) さいたま市公民館運営審議会から他の会議等に推薦している委員一覧

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

- ・冒頭、委員長・副委員長の選出を行い、委員の互選により、委員長は山中冴子委員、副委員長は加藤美幸委員が就任した。また、さいたま市公民館運営審議会の概要、生涯学習総合センター・公民館の概要、さいたま市公民館ビジョン、諮問について説明を事務局より行った。

加藤副委員長	さいたま市では、e 公民館やオンライン形式の事業など、ICT に関連した事業の充実を図っていることから、まずは公民館の関連事業の実施など現状について紹介してほしい。その後に、今後どのような方向で審議していくのか考えていけると良いと思う。また、さいたま市公民館ビジョンの「新しい時代」と「新たな学び」のところでは、ICT やオンラインなどに関する記述がある。さらには、デジタルデバイド解消の支援を行っていく旨の記載が諮問文にもあり、こういった私たちに身近なテーマについて審議していった方がよいのではないか。
吉田館長	様々な物事が IT 化されてきている中で、公民館においてできることは限られているが、加藤副委員長がおっしゃられたように、e 公民館や公民館が実施した ICT 関連の事業などの紹介、zoom を活用したオンライン会議のデモンストレーションなどを今後審議会において行いたいと考えている。
加藤（恒）委員	公民館は若い世代にとってアクセスしづらい施設であるように感じていることもあり、オンライン形式の事業を始めたことにより、どのような人たちが公民館にアクセスするようになったのか、次回以降教えてほしい。 また、鈴谷公民館では zoom を活用したオンラインサロンを実施し、事業をオンライン化したことで、今まで参加したことのなかった市民にも参加していただいた旨、主催者から伺った。そのような事例が他の公民館においてもあれば審議会において紹介してほしい。
掛川館長	コロナ禍ということで、対面による事業実施が難しい状況の中で zoom を活用して「子育てサロン」を実施した。公民館に来館することが難しい方も気軽に参加できたように思う。
山中委員長	事例を紹介していただき、それに対する評価もしっかりしていきたい。公民館事業においてデジタルトランスフォーメーションを推進することは、何が目的で、何をどのように変えていきたいのか、これらの点を精査し、正確に把握する必要がある。
吉田館長	今後、全 60 公民館において、ICT に関する事業のアンケートを共通の様式で取り、参加者のニーズなどについてデータを集計しようと考えている。来年度の上半期になればデータがある程度集まるので、そちらを審議会に情報提供するなど検討したいと思う。
小林委員	今回の諮問がデジタルトランスフォーメーションに関する内容であるが、経済産業省が掲げているようなデジタルトランスフォーメーションを実践できている企業は、大企業を含めても全体の 10 パーセント未満と聞いている。DX の推進を考えるにあたって、さいたま市の公民館に合った IT リテラシーや市民のスキルを考えて推進していくべき。デジタルトランスフォーメーションが目的とならないことが非常に大切である。委員長が言ったように、何のために、誰が、どのような道筋で、どこを目指していくのかというのが非常に重要であるように思う。 また、話は変わるが、公民館利用者は高齢者が多く、若年層が少ない。公民館側が若年層にリーチできていない課題もあるため、それらも含めた公民館のあり方を審議していきたい。

山中委員長	第8期の公民館運営審議会において、「青少年・若者が地域とつながる公民館事業について」答申を出しているが、それを含めた今までに審議会が蓄積してきた内容も振り返りながら審議を進めていけるとよい。
石田委員	諮問テーマの幅が広すぎる。もっとテーマを絞って審議をしていくべきだと思う。その方が、他の委員も審議がしやすいと感じた。
加藤副委員長	資料に「さいたまデジタル八策」と記載がある。その中に「災害にも強いデジタルを安心して使えるさいたま市へ」「様々な人と、ともにデジタル化を進めるさいたま市へ」「デジタルで市民や世界とつながるさいたま市へ」などと重点課題が記載されているが、公民館が避難所に指定されていたり、主催事業のテーマとして防災を扱っていたり、また、さいたま市公民館ビジョンにおいてつながりづくりが謳われていることなどから、公民館が果たす役割は大きいと考える。そういったテーマに絞って審議を進めていくのも良いと感じた。
山中委員長	この重点課題について次回以降説明していただくことは可能か。
吉田館長	この八策が非常に広い範囲でつくられているため、これらの重点課題について、公民館と関係性があるものを検証し、次回説明する。
山中委員長	「重点課題をどのように理解するのか」という点において、公民館におけるオンライン形式で行う事業などの取組を評価することは非常に重要である。

11 その他

今期の会議日程、他の会議等に推薦している委員について説明と報告を事務局より行った。

12 閉会